

2024年度 自己点検・自己評価

評価項目の達成及び取り組み状況

適切	4	ほぼ適切	3
やや不適切	2	不適切	1

1. 教育理念・目的・期待する卒業生

項目	小項目		概要	評価
理念・目的・期待する卒業生像	1	理念・目的・期待する卒業生像は、明確に示されているか	理念・目的・卒業生像は定められているか、専門職業人を育成することを目的としている	4
	2	期待する卒業生像は社会経済や地域ニーズに適合しているか	地域に貢献する人材育成を教育目標として掲げている。また、教育課程の策定において、地域社会のニーズに適合するようにディプロマポリシーを掲げている	4
	3	理念等の達成に向け特色のある教育活動に取り組んでいるか	教育理念に基づいたカリキュラムを編成し、理念達成を目指した看護教育に取り組んでいる。講義及び看護技術、臨地実習では主体的に学ぶための授業方法に取り組んでいる。	3.4
	4	地域社会のニーズを踏まえた将来構想を抱いているか	社会の動向や地域社会のニーズに関心を持ち、地域社会に貢献しうる看護師の育成に取り組んでいる	4
	5	理念・目的・期待される卒業生像、学校の特色等を学生・保護者に周知しているか	教育理念・教育目的・卒業生像や専門職業人の育成として、方針を学生・保護者に周知しているか	3

教育理念はオープンキャンパス、入学前オリエンテーション、入学ガイダンス等で教育理念、卒業生像を学生・保護者に説明している。教育理念は教育内容に反映されているが、在学中に改めて教育理念に触れる機会は少なく、保護者も同様であり、学生や保護者が教育理念や卒業生像を意識し教育活動の根幹を示していく必要がある。

2 学校経営

学校運営	6	理念に沿った運営方針を定めているか	教育理念・教育目標を達成するために学年目標や組織目標が定められている	4
事業計画	7	理念を達成するための事業計画を定めている	教育理念・教育目標を達成するために、行事及び学校運営計画や業務分担が定められている	4
運営組織	8	学校運営のための組織を整備しているか	学校運営委員会が設置されている。 会議規定に則り会議が開催され、情報共有や意思決定が有効に機能している。 就労規則に人事・給与に関する規定が整	3.2

			備してある 職員数が指定規則通りである	
情報システム	9	情報システム化に取り組み、業務の効率化を図っている	教務システム、Cloud、コミュニケーションツールを活用し学生の成績管理、個人情報管理、授業や学生との連絡等において円滑に運用している。システムを活用することで効率良く情報を共有している	4

教育理念、教育目標、学年目標、各科目目標までは一貫性を持って設定している。専門職業人として身に付けていなければいけない姿勢や態度面は、各教員が統一した姿勢で教育活動を行っている。学校運営のための組織を整備し、事務長、副学校長が経営母体の医師会の事務局の役職を兼任している。

3. 教育活動

目標の設定	10	理念に沿った教育課程の編成・実施方針を定めているか	教育理念・教育目標に基づいて科目を設定し、順序性、位置づけが明確になっている。指定規則に則り「教育計画」を作成し教職員に周知している	3
	11	修業年限に応じた到達レベルを明確にしているか	学年目標を設定し、教員は周知している 学生に学年目標を周知している	3.1
教育方法と評価方法	12	目的・目標に沿った教育課程を編成しているか、	カリキュラムは体系的に編成されているか シラバスに学習目標、学習内容を掲載している	3.7
	13	キャリア教育に取り組んでいるか	社会的・職業的自立に向け必要な基盤となる能力や態度を育成することを教職員が意識して行っている キャリア教育のための授業科目を設定している。また、キャリア教育の視点に立った教育方法を意識している	2.5
	14	授業評価を実施しているか	すべての科目において授業評価を実施している 授業評価を学習内容や教育方法の改善に活用している	3.8
成績評価・単位認定	15	成績評価・単位認定が適切に運用されているか	成績評価・単位認定、進級・卒業認定に関する規定が整備してある 成績評価の方法をシラバスに明示してある 単位は会議をもって認定される	3.6
資格・免許取得の指導体制	16	資格・免許取得は教育課程上で明確に位置づ	看護師国家資格を得るためには、教育課程の全科目(臨地実習も含む)を履修する	4

		けてあるか	ことを入学時から明確に位置付けている 1 年次から看護師国家試験を意識し模擬試験を実施している	
	17	資格・免許取得の指導体制はあるか	1 年次より模擬試験を実施し、学習指導を行っている。3 年次は全教員が看護師国家試験合格に向けて取り組んでいる	3.7
教員	18	資格・要件を備えた教員を確保しているのか	教員養成講習会を受講、または教育系単位を4単位以上取得している 科目を担当することができる要件を備えた教員を確保している	3
	19	教員の資質向上のための取り組みを行っているか	科目を担当するために必要な研修の支援体制がある 初めて担当する科目の支援体制がある 研修や学会への参加、自己啓発などの支援体制は整備されている	2.4
	20	教員の組織体制を整備しているのか	教員間の連携や協働体制(領域や科目間)は構築されており、授業内容・教育方法の改善に取り組んでいる	2.2

社会的・職業的自立に向け必要な基盤となる能力や態度を育成することを教職員が意識して行っている。社会に出て身に着けていなければならないこととして、「看護実践力」「対象にかかわる力」などがあり、近年では「臨床判断に必要な基礎的能力」を身につけさせたいと、授業の中で「気づく力」や「行為の中での省察」を意識した教育方法を取り入れている。専門職業人としての態度面に関しては各教員が一貫性を持って指導に当たっている。教員の担当する科目は経験値を考慮して世代交代が順次行われており、交代する科目に関しては前年度に授業参観できるように考慮している。担当教員間で教育内容や方法に関して評価・修正している。今後に向け課題となることは、領域や科目を超えて連携を取り教育内容や教育方法に関して、研修やセミナーを受講するなど学習できる機会を増やしていく。講義、実習ともに新人教員、経験年数の浅い教員のフォロー体制を強化していく。

4. 学修成果

就職率	21	就職率の向上が図られているか	就職支援体制がある 学生は看護師の資格を生かした進路を決定している 自己の将来像を描き満足度の高い就職が実現できている 進路を決定するために卒業生との交流がある 就職先から看護師募集に関する情報を得て、就職支援している	4
資格・免許の取得	22	資格・免許取得率の向	看護師国家試験対策グループを中心に、	2.4

率		上が図られているか	100%合格を目指し、入学時から段階的に計画・実施に取り組んでいる 看護師国家試験の過去のデーターを管理し試験対策に活用している	
卒業生の社会的評価	23	卒業生の社会的な活躍や評価を把握しているか	卒業生のうち実習施設に就職した者の活躍については概ね把握している。また、実習施設においては上司から直接、卒業生の評価を聴く機会がある。 実習施設以外に就職した卒業生の動向を把握している	3.1

就職率は、100%を維持している。尾北医師会管内の就職率は38%、尾張北部医療圏では55%である。
国家試験の合格率は88%であり大変厳しい状況であった。国家試験対策においてはクラスで課題に取り組み、成績低迷者に対しては少人数担当制にして支援したが、気持ちの落ち込みや学習持続時間の維持など成人学習者が主体的に取り組むべき自己課題に対して支援できていない。教員、学生ともにセルフコーチング方法や支援方法も学ぶ必要がある。キャリア教育については、1年次の基礎看護学概論、3年次の看護管理、看護の統合で行っている。専門職業人としての態度育成は各科目の中で意識して教育している。

5. 学生支援

就職等進路	24	就職や進路に関する支援体制がある	就職説明会やインターンシップの情報を提供し、参加を促している 学生個々の相談や支援体制を整備している	3.9
休学や中途退学者への支援	25	休学者の把握、退学率の低減が図られる	学生の学習面や経済面を把握し、適宜情報共有し対策を考えている 退学率を低減するため、学生の個別的な関り(相談・学習支援)はできている	3.1
学生相談	26	学生相談に対する体制を整備している	学年担当制をとっており、複数で担当している。学年担当により面接を行っている。 学習面、態度面は学年担当、経済面、進退に関わることは管理者と分担し、情報共有しながら学生支援を行っている	3.8
学生生活	27	学生の経済的な支援体制を整備している	高等教育の修学支援制度、日本学生支援機構による奨学金、医療機関による修学金など利用可能である。また、当校独自の成績優秀者授業料支援がある。 学生の状況に合わせて学納金の延滞や分納など柔軟に対応している	3.7

	28	学生の健康管理を行う体制を整備している	登校時に健康観察表を記入し健康状態を確認・指導している 学校保健安全法に基づいて健康診断を実施、健康管理の指導、助言をしている 季節性ワクチン接種を校内で実施している 医療関係者のためのガイドライン(第3版)を参考にワクチン接種を推奨している	4
	29	課外活動に対する支援体制を整備している	学生主体で「さくら会」の活動を行っている。ピアエデュケーションスキルの向上を図っている ボランティア活動を通して地域の自治活動に参加するなど、行政機関と連携することで地域ニーズを知り共生の精神を学べるように取り組んでいる	3.8
保護者との連携	30	保護者との連携をしているか	入学前オリエンテーション、入学式後の連絡会にて3年間の学生生活のこと、戴帽式後の保護者会でこれまでの学習状況や学生に関わる問題等の報告を行っている。 成績低迷者に対しては速やかに保護者と連絡を取り面談を行っている。 年初に保護者の連絡先の変更の有無の確認を行い、緊急時に連絡できるようにしている	3.6
卒業生への支援	31	卒業生への支援体制を整備しているか	卒業生は卒業と同時に本校同窓会に入会する 毎年8月上旬に卒業生の里帰りを実施し近況報告やメンタル支援を行っている。 卒業時のクラス担当が窓口になり卒業生と連絡が取れる状況にしている 卒業生の復職や就職に関し情報提供を行い、必要であればマッチングを行っている	4
社会人学生支援	32	社会人のニーズに合わせて支援体制の整備はできているか	社会人入試や一般入試(年2回)を行い広く社会人の受け入れを行っている。 社会人入学者に対しては、履修科目の認定制度を導入している	3.8

			社会人のための学校説明会を催し社会人の在校生との交流を行っている	
--	--	--	----------------------------------	--

就職等進路相談に関しては、近隣の病院を中心に就職支援を行っているが、尾北医師会管外からの入学生に関しては、興味のある病院はインターンシップや病院説明会に参加し、複数エントリーするように促している。学生支援に関しては問題が顕在した時点で早期対応、早期解決を目指している。

6. 教育環境

施設・整備	33	教育上の必要性に対応した施設・設備・教育用具等を整備している	施設・設備は設置基準に適合している 経年の老朽化に合わせて修繕を行っている(2024 年度はトイレの全洋式化、照明を自動点灯化、廊下、教室の壁の修復) 全館 Wi-Fi を設置し、各教室大型ビジョンを導入し、外部からの陽光の影響を受けないか環境に整備した。(2024 年度各教室大型モニター天井吊り下げに変更し信号トラブル軽減した) 学生が使用する教室や演習室、実習室の証明は LED に変更し学習環境を整備した	4
防災・安全管理	34	防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	本校は「尾北看護専門学校防災基本マニュアル」に基づき、有事に備えて教職員の役割分担を明確に定めている。毎年防災訓練を実施している。マイクロソフト Forms を使用し安否確認が可能となっている。	4
	35	学内における安全管理体制を整備しているか	学生・教職員全員「総合保障制度 Will 」に加入している。 防犯対策とし出入りに防犯カメラを設置指定している。 感染対策として、健康観察表を活用し健康管理指導を行っている。「日本環境感染学会医療関係者のためのワクチンガイドライン第3版に則り対応している。	4

昨年度は学生の要望のあったトイレの改修工事を全館行った。教室の大型ディスプレイを天井吊り下げタイプにし通信トラブルの軽減を図った。保護者との連携は、1年次に2回保護者会を行っており学校の様子を知ってもらう機会を設けている。2、3年次は個別で保護者対応を行っている。国家試験前の成績低迷者の対応を保護者にも知ってもらう機会を設ける必要がある。

7. 学生募集と受け入れ

学生募集活動	36	学生募集活動は適切に行われているか	オープンキャンパスを実施し、学校説明会を開催している。合同進学説明会に参加し、学校 PR 活動を行っている。学校訪問を実施している。 社会人の入学希望者のための学校説明会を実施している Instagram を使用し学生生活やイベント案内を行っている	3.9
入学選考	37	入学選考基準を適切に行っているか	入学選考基準を明確に定め、入試委員会に置いて適切に合否判定を行っている	3.8
学納金	38	学納金は妥当なものになっているか	学校運営費は、愛知県からの補助金、愛知県医師会からの補助金、授業料、雑収入がある。不足が生じれば尾北医師会からの補填で運営している。 学納金は募集要項に掲載したうえで、学生募集を行っている。	4

学納金は次年度より入学金、施設設備費、授業料の値上げを予定している。運営費が高騰し医師会からの補填額が県や市町からの補助金額を上回った。運営費の高騰理由は近年の物価の上昇と、診療報酬の改定を通じて医療従事者の賃上げにより人件費も上昇している。また、施設も30年経過しており修繕計画に基づいて設備費を予算立てしているが、計画外の修繕もある。会館全体の修繕に関しては医師会の会館整備費、教育に関する設備や高価なシミュレーター、デジタル備品は学校の施設設備積立金より拠出していく方向性を示した。

8. 財務

予算・収支計画	39	教育目標との整合性を図り、単年度予算を中期的に計画している	本校の教育理念・教育目標を達成するために、計画的に予算編成を算定している。	4
	40	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	算定した予算・事業計画に基づき、適切に執行している。また、経費削減に取り組んでいる。 予算執行状況を把握し、執行状況を検証している	4
	41	財政について会計監査が適切に行われているか	尾北医師会の公認会計士による会計監査を実施している 尾北医師会会員総会にて会計報告を行っている	4
	42	財政情報公開の体制は整備しているか	情報公開を行っている	4

収支計画通りに予算執行している。会計監査も適切に行っている。

9. 社会貢献・地域貢献・国際交流

社会貢献・地域貢献	43	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	医師会の学術集会、地域ケア協力センターの事業等で学校の施設、教材等の貸し出しを行っている	4
	44	学生ボランティア活動を推奨・支援している	全学年を通してボランティア活動に参加している 地域のイベントにボランティアで参加している	4
	45	地域の特徴を把握し、地域内における諸資源を養成所の教育課程へ取り入れているか	地域の企業・行政施設や介護福祉関連の事業所にて演習や実習を行っている 地域で活躍するや職種や委員等の演習協力を得ている	4
国際交流	46	国際的視野を広げるための授業科目が設定されているか	国際看護を科目設定している 基礎科目においては日本国籍外の講師を採用している	4
	47	留学生の受け入れについて応じる体制があるか	留学生受け入れに関する規定がある	4

地域のイベントにボランティアで参加し住民との交流を図っている。行政や各種事業所や子育て施設等で実習を行っており、地域ニーズの理解につながっている。昨年度は地域の小学校より PTA 主催の講演会で「こころの健康と自分らしさ」の講演を行った。中学校ではキャリア教育の一環として働く人の話を聞く会にて講話した。

10. 研究

研究活動	48	研究活動は保証されており助言は得られる環境か	研究活動を行う時間は確保されている 研究活動や研究発表のための支援体制がある	1.7
------	----	------------------------	---	-----

教員は少ない人数で学校運営を行っており、研究活動に十分な時間を確保することが困難な状況である。

「2024年度 自己点検・自己評価」から課題と改善策

1. 教員の資質向上のための取り組み、教員の組織体制を整備について

教員の資質向上のための取り組みのとして。学生の長期休暇に合わせて、オンラインセミナーを視聴しグループワークを実施する。自己の課題発見・解決を図りたい。

教員間の連携や組織体制（領域や科目間）の連携や、授業内容や教育方法の課題を明確にする。

2. 資格・免許取得率の向上について

今年度は合格率 88%と 2 年連続低迷。学生の能力に合わせた個別支援が足りなかった。学生が教員に依存傾向であり、自己で課題に取り組む力が弱いと感じた。次年度は、外部講師による国家試験対策セミナー、他校合同の学習会を計画し、学習のコツをつかめるように支援する。外部講師による自己教育力を高めるためにコーチングやアンガーマネジメントの研修時間を設ける。

3. 研究活動について

次年度の日本看護学校協議会学会に示説発表（2 題）を計画する。そのために計画的に研究活動を行うための時間を確保する。